

やす

平成27年(2015年) No.41



市議会だより



三上小学校 左義長体験

No.41

発行日／平成27年2月1日
発行／野洲市議会
編集／議会だより編集委員会
〒520-2395
滋賀県野洲市小篠原2100番地1
TEL (077) 587-6034
FAX (077) 586-4300
野洲市議会ホームページ

野洲市議会

検索

目次 CONTENTS

- 臨時会・定例会報告…………… P2
- 委員会報告…………… P4
- 一般質問…………… P7
- 委員会等一覧…………… P12
- 議会報告会・懇談会…………… P14
- 出前懇談会・次回定例会予定…………… P16

平成26年 第5回臨時会提出案件の概要と審議結果

平成26年11月4日開催の第5回臨時会では、議案3件（人事案件）について審議し、議員発議1件の提案を行いました。また、議長・副議長の選出等を行い、関連して各委員会等の構成員に一部異動がありました。

～ 平成26年11月4日付で就任しました ～

議長 河野 司
副議長 市木 一郎
監査委員 矢野 隆行

【全員賛成で可決した案件】

分類	議案番号	件名	審議結果	概要	付託委員会
人事	議第79号	野洲市教育委員会委員の任命につき議会の同意を求めることについて	同意	石田 道雄 氏（再） （平成26年11月18日から4年間）	—
人事	議第80号	野洲市公平委員会委員の選任につき議会の同意を求めることについて	同意	野洲 和博 氏（再） （平成26年11月18日から4年間）	—
発議	発議第2号	野洲市議会委員会条例の一部を改正する条例	原案可決	予算常任委員会委員について議長を除く議員が委員になることを明文化するとともに、議員が議会運営委員会及び特別委員会委員を辞任する際の議長の許可権限を議会閉会時のみとし、本会議開会中は議会に許可権を移行するなどとする所要の改正	—

【賛否が分かれた案件 ○：賛成 ●：反対】

分類	議案 番号	件 名 及 び 概 要	審議 結果	中塚	稲垣	北村	栢木	岩井	上松	東郷	太田	野並	井狩	市木	坂口	山本	丸山	鈴木	矢野	梶山	高橋	河野	立入	付託 委員会
人事	議第 81号	野洲市監査委員の選任につき議会の同意を求めることについて 議会選出の監査委員として、矢野隆行議員の選任について同意	同意	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○	—	○	○	—	○	—

※議長（河野司議員）及び矢野隆行議員（除斥者）は採決に加わらない。

平成26年 第6回定例会提出案件の概要と審議結果

平成26年11月27日開会の第6回定例会では、議案36件（専決処分1件、補正予算7件、条例制定・改廃8件、その他20件）、請願1件、意見書3件について審議し、議員発議2件の提案を行いました。



【全員賛成で承認・可決した案件】

分類	議案番号	件名	審議結果	概要	付託委員会
専決処分	議第82号	専決処分につき承認を求めることについて（平成26年度野洲市一般会計補正予算（第3号））	承認	第47回衆議院議員総選挙及び第23回最高裁判所裁判官国民審査の執行にかかる経費の計上 補正額 2,277万4千円の追加	—
補正予算	議第84号	平成26年度野洲市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決	医療費等の保険給付費の増額に伴う療養給付費負担金等の増額、糖尿病重症化予防指導事業の利用者数増加に伴う委託料の増額など 補正額 1億3,511万3千円の追加	予算
補正予算	議第85号	平成26年度野洲市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	原案可決	人事院勧告及び人事異動による職員給与費等繰入金金の減額と人件費の精査 補正額 81万1千円の減額	予算
補正予算	議第86号	平成26年度野洲市介護保険事業特別会計補正予算（第3号）	原案可決	制度改正に伴う介護保険システム改修費に対する補助金等の増額及び同システム改修委託料の計上など 補正額 413万6千円の追加	予算

補 正 予 算	議第 87号	平成26年度野州市下水道事業特別会計補 正予算(第1号)	原案 可決	人事院勧告及び人事異動による職員給与費等繰入金 の増額、下水道施設修繕料の増額 補正額 836万3千円の追加	予算
	議第 88号	平成26年度野州市工業団地等整備事業特 別会計補正予算(第1号)	原案 可決	利率減に伴う借換債の減額、借換債利子確定に伴う 不用額の減額 補正額 351万6千円の減額	予算
	議第 89号	平成26年度野州市水道事業会計補正予算 (第2号)	原案 可決	水源地施設修繕費の計上、人件費の精査 収益的支出補正額 353万9千円の追加 資本的支出補正額 632万3千円の減額	予算
条 例	議第 90号	野州市債権管理条例	原案 可決	市の保有債権の管理に関し、必要な事項を定めるこ とにより、健全な財政運営及び市民生活の安心の確 保を図るための条例制定	総務
	議第 91号	野州市風致地区内における建築等の規制に 関する条例	原案 可決	風致地区内における建築等の規制に関し、必要な事項 を定めるための条例制定	環境 経済 建設
	議第 92号	野州市議会議員の議員報酬等に関する条例 等の一部を改正する条例	原案 可決	人事院勧告に基づく議会議員、市長等、教育長の期 末手当の引き上げなどの所要の改正	総務
	議第 93号	野州市職員の給与に関する条例の一部を改 正する条例	原案 可決	官民給与の格差を是正する人事院勧告に基づく、職 員の給料表の改定などの所要の改正	総務
	議第 94号	野州市長期継続契約を締結することができる 契約を定める条例の一部を改正する条例	原案 可決	長期継続契約の締結業務追加についての所要の改正 ・水道料金及び下水道使用料の収納等の業務 ・プールの管理及び運営(総合体育館、中主B & G 海 洋センター)	総務
	議第 95号	野州市国民健康保険条例の一部を改正する 条例	原案 可決	国民健康保険被保険者の出産育児一時金の本体部分 を引き上げる改正	文教 福祉
	議第 96号	野州市地域ふれあい公園条例の一部を改正 する条例	原案 可決	開発行為に伴い市に帰属することとなった公園を追 加するための所要の改正	環境 経済 建設
そ の 他	議第 97号	野州市消防団員等公務災害補償条例の一部 を改正する条例	原案 可決	「次代の社会を担う子どもの健全な育成を図るための 次世代育成支援対策推進法等の一部を改正する法律 の一部の施行に伴う関係政令の整備に関する政令」の 公布に伴う所要の改正	総務
	議第 98号 ～ 108号	指定管理者の指定につき議決を求めること について(比江老人憩の家)ほか10件	原案 可決	市内の老人憩の家の指定管理者を各自治会に指定(比 江、木部、井口、吉川、西河原、野田、安治、比留田、 六条、八夫、北比江) 平成27年4月1日から平成32年3月31日	文教 福祉
	議第 109号	指定管理者の指定につき議決を求めること について(北比江農機具保管庫ほか)	原案 可決	北比江農機具保管庫、北比江共同作業所の指定管理 者を北比江自治会に指定 平成27年4月1日から平成28年3月31日	環境 経済 建設
	議第 110号	指定管理者の指定につき議決を求めること について(野州市三上集楽センター)	原案 可決	野州市三上集楽センターの指定管理者を三上自治会 に指定 平成27年4月1日から平成32年3月31日	環境 経済 建設
	議第 111号	指定管理者の指定につき議決を求めること について(野州市大型共同作業所)	原案 可決	野州市大型共同作業所の指定管理者を野州市(同和) 産業振興会に指定 平成27年4月1日から平成28年3月31日	環境 経済 建設
	議第 112号	指定管理者の指定につき議決を求めること について(菖蒲漁港ほか)	原案 可決	菖蒲漁港、吉川港、吉川舟溜りの指定管理者を中主 漁業協同組合に指定 平成27年4月1日から平成32年3月31日	環境 経済 建設
	議第 113号	指定管理者の指定につき議決を求めること について(野州市シルバーワークプラザ中 主ほか)	原案 可決	野州市シルバーワークプラザ中主、野州市シルバー ワークプラザやすの指定管理者を公益社団法人野州 市シルバー人材センターに指定 平成27年4月1日から平成32年3月31日	環境 経済 建設
	議第 114号	指定管理者の指定につき議決を求めること について(野州市野洲川河川公園)	原案 可決	野州市野洲川河川公園の指定管理者を特定非営利活 動法人YASUほほえみクラブに指定 平成27年4月1日から平成32年3月31日	環境 経済 建設
	議第 115号	財産の譲与について	原案 可決	北嶺字山田891番8、12㎡の財産を関西電力株式会 社滋賀支店に譲与	総務
	議第 116号	字の区域及び名称の変更について	原案 可決	大津湖南都市計画市三宅東部土地区画整理事業の施 行に伴う字の区域及び名称の変更	環境 経済 建設
	議第 117号	市道路線の認定及び廃止について	原案 可決	・認定路線…富波野田4・5・6号線、富波三堂線、 大上郷線 ・廃止路線…富波野田4号線	環境 経済 建設

発議 議	発議 第3号	野洲市議会基本条例の一部を改正する条例	原案 可決	議会の議決を必要とする市の長期にわたる計画あるいは指針の中で、「野洲市次世代育成支援行動計画」の期間が本年度末で終了し、新たに子ども・子育て支援法に基づく「野洲市子ども・子育て支援事業計画」が策定されることに伴う計画の名称変更	—
	発議 第4号	市長の専決処分事項の指定についての一部改正	原案 可決	野洲市債権管理条例の新規制定に伴う市長の専決処分事項の指定についての所要の改正	—

【賛否が分かれた案件 ○：賛成 ●：反対】

分類	議案 番号	件名及び概要	審議 結果	北村	稲垣	栢木	岩井	中塚	山本	太田	野並	東郷	上松	井狩	市木	丸山	鈴木	矢野	梶山	河野	坂口	高橋	立入	付託 委員会
補正 予算	議第 83号	平成26年度野洲市一般会計補正予算(第4号)マイナンバー制度開始に向けたシステム整備費補助金及び同制度に対応するシステム改修費用の計上、米価下落影響緩和緊急対策補助金の臨時措置、野洲駅周辺都市基盤整備事業費の追加による合併特例債の計上など補正額 1億3,194万円の追加	原案 可決	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	予算
請願	請願 第2号	中学校卒業までの通院医療費無料化の拡充を求める請願 子どもの医療費無料化の対象を通院でも中学校卒業まで拡大することを求める請願	不採択	○	●	●	●	○	●	○	○	○	●	●	●	●	●	●	●	—	●	●	●	文教 福祉
意見 書	意見書 第22号	企業団体献金の禁止と政党助成金の廃止を求める意見書(案)	否決	●	●	●	●	●	●	○	○	○	●	●	●	●	●	●	●	—	●	●	●	—
	意見書 第23号	消費税増税は先送り実施ではなく、きっぱり中止を求める意見書(案)	否決	●	●	●	●	●	●	○	○	○	●	●	●	●	●	●	●	—	●	●	●	—
	意見書 第24号	沖縄県知事選挙の結果を受け、名護市辺野古への新基地建設断念を求める意見書(案)	否決	○	●	●	●	○	○	○	○	○	●	●	●	●	●	●	●	—	●	●	●	—

※議長(河野司議員)は採決に加わらない。

委員会報告

予算常任委員会

総務分科会

◆平成26年度野洲市一般会計補正予算(第4号)

問 庁舎等維持管理費の施設等修繕料として、188万7千円が計上されているが、その内容は。

答 主なものは、本庁舎のOA用電気設備工事や配水管詰りの修繕等であり、合併後10年が経過して施設やその部品に劣化が生じたことによる修繕である。



合併後10年が経過した庁舎

問 東消防署分署解体費の執行残1,605万6千円の減額補正の経緯と内容は。

答 当初予算額は、建築設計事務所の解体費概算見積りによる積算で、その後、実施設計による額の精査、そして入札を行い、実際の執行額が確定

したため、その差額を減額補正するものである。

問 住民情報システム費のシステム保守委託料で、社会保障・税番号制度システム整備費が今回の補正でも計上されているが、予測されるシステムの保守委託料のトータル金額と、財源内訳は。

答 今年度の改修に引き続き、平成27年度も政府から政省令が出されたらその基準に基づき改修費を計上する予定であり、現時点では正確に把握できない。

問 防災センター施設管理費で補償補填及び賠償金として、相手方に支払う金額がそれぞれ計上されているが、その根拠は。

答 本来公費で行うべき業務を、当時の担当職員が依頼し、その経費を職員個人が支払ったため、相手方からは本来の債務者でないとして職員に返金されることで、相手方に経理上の損金が発生することから、それを補填するため、市からの支払いを補償補填及び賠償金で支払うものである。

予算常任委員会

文教福祉分科会

◆平成26年度野洲市一般会計補正予算(第4号)

問 健康福祉センターの電気代60万円の増額は、何か月分に相当するのか。

答 当初予算は前年度実績並みで計上したが、前年度は空調設備改修工事で、エアコンが6月からの稼働であり、今年度は4月から通常に稼働していたため、その2か月分に相当する不足額である。

問 児童遊園維持管理費の大篠原鎮守の森広場整備工事の追加工事の内容と3か年全体の予算総額は。

答 当初は外周フェンスとベンチの改修で予算措置をしたが、地元の要望でイノシシの侵入防止対策を追加した。また、3か年の見込み総額は、実績及び追加を含め合計907万9千円である。



大篠原鎮守の森広場

問 小学校管理費の複写機使用料58万円の増額理由は。

答 今年度実施された学力テストについて、各小

学校の分析資料作成に伴い複写機使用料が増えたためである。

問 幼稚園管理費の水道代51万4千円増額の内容は。

答 野洲幼稚園のトイレの給水管の漏水に伴う水道代の増額分で、減免申請により当初の請求金額から約47%減額された金額である。

問 総合体育館・温水プール管理運営費の燃料費で、ボイラー重油代が増額されているが、その理由は。

答 今年度の当初予算額は、暖冬で燃料費が比較的安くついた前年度の実績並みであったが、今年度の夏は暑い日が多く空調燃料費の支出が増えたため、今後、不足が見込まれるので増額が必要となった。

◆平成26年度野洲市介護保険事業特別会計補正予算(第3号)

問 介護保険事務費のシステム改修委託料について、国の補助金の不足分に対する一般会計からの繰り入れとのことであるが、介護給付費準備基金からの繰り入れはできないのか。

答 基本的にシステム改修については一般会計からの繰り入れで対応している。

環境経済建設分科会

◆平成26年度野洲市一般会計補正予算(第4号)

問 大阪湾広域処理場への灰処理委託料にかかる本市の搬出量と1トン当たりの単価は。また、単価の値上げはあるのか。

答 大阪湾への搬出量については、1日5～6トン、焼却灰が週に10トン車3台程度、処理灰が4トン車で2台程度である。今年度の1トン当たりの単価は7,236円。平成27年度からは9,072円になる見込みである。



焼却灰を運ぶ10トン車

問 米価下落影響緩和緊急対策補助について、国県からの補助はないのか。

答 国県の動きを見ていたが、これといった動きがなく、今回、本市の農業振興計画にあがっている担い手の育成という観点から、市独自で対応した。

問 街路灯の修繕の内容は。

答 近江富士団地内の電柱に設置されている街路灯の取り付け部分に腐食が生じ、現在、200ワットの水銀灯が設置されているが、60ワットから90ワットのLED球の街灯に交換するものである。

◆平成26年度野洲市工業団地等整備事業特別会計補正予算(第1号)

問 補正予算に係る借換債の利率は。

答 今年度の当初予算では1.2%の利率を予定していたが、金融機関からの見積り結果により最低利率である1.0%となった。

◆平成26年度野洲市水道事業会計補正予算(第2号)

問 資本的支出の給料、手当等の減額の理由は。

答 1点目には、職員の人事異動による手当等の減がある。2点目には、現在、水道職員は5人で、このうち建設に係る人件費で昨年度までは、3人分をみていたが、事業が少なくなり2人にしたことによるものである。

総務常任委員会

◆野洲市債権管理条例

問 私債権について、安易に債権放棄するということは避けるべきと思うが。

答 時効による債権放棄は、市民に一定の期間が経過すれば時効を迎えられるという誤解を招かないよう、市民の公平な負担を原則とし、本人と接して、適切な徴収に努める。債権放棄はあくまでも最終的な手段として位置づけ、債権管理審査会を設けて慎重に対応する。

問 時効の中断には、滞納整理を積極的に行い、分納誓約を交わすことが有効なやり方だと思うが。

答 職員が滞納者と接することは、状況把握も含め非常に大切なことである。滞納者に対して、債

務の確認と支払う意思を確認して、支払計画を分納誓約という形に残すべきであると考えている。

◆野洲市議会議員の議員報酬等に関する条例等の一部を改正する条例

問 議員等の期末手当が年3.1か月となり、平成21年と同様になっているが、職員の期末勤勉手当は、4.1か月で、平成21年の4.15か月と同様になっていないのはなぜか。

答 人事院勧告が出されて国家公務員の給与が決まり、それに準じて地方公務員の給与も決まる。大臣等の給与に関しては、人事院勧告に準じて閣議決定で決まり、両者は別のものであり、関連性はないと思うべきだと思う。

環境経済建設常任委員会

◆野洲市風致地区内における建築等の規制に関する条例

問 風致地区である妙光寺地先ではいまだブルーシートが張ったままになっているが、復旧の見通しとこの条例との関係は。

答 この条例で市の事業となるのではなく、国の森林管理事務所の管理区域であり、国庫補助を受け、復旧作業を行っている。今年度3月で完了予定である。

◆野洲市地域ふれあい公園条例の一部を改正する条例

問 今回、追加される富波乙の野田第二公園について、管理費が発生すると思うが見通しは。

答 平成27年4月以降に自治会に管理をお願いする予定である。



野田第二公園

◆市道路線の認定及び廃止について

問 行き止まり道路で回転広場が不要な条件は。

答 延長が35メートル未満で、当該道路のみを接道とする宅地が2区画以内である場合は不要である。

文教福祉常任委員会

◆指定管理者の指定につき議決を求めることについて（比江老人憩の家）ほか10件

問 指定管理者への管理の勉強会などの計画は。

答 管理は自治会であるが、管理へ向けての勉強会は計画していない。独自で管理していただいている。

問 管理マニュアル的なものがあるのか。

答 協定書に基本的な管理等について掲げている。

◆中学校卒業までの通院医療費無料化の拡充を求める請願

紹介議員から請願趣旨の説明を受けたあと、紹介議員への質疑や委員間の討議を繰り返した。

問 実施するととなると最終的にはやはり財源だと思うが、財源についてはどのように考えているのか。

答 財源はやはり市当局でどう捻出するかというところになると思う。子育てしやすい若い世代に住んでもらえるようなまちにしないと発展もない。財源というより実施することで、新たに税を納めてくれる人が増え、のちに生み出すお金が大きくなっていくと思う。

○委員間討議

- ・ 議員は市民の代表なので、市民側に目線を置いて声を行政に届けるのが一番の仕事である。
- ・ いいことを言っても、財源の裏打ちがないと何もできないことを、市民に理解願わねばならない。
- ・ 財源捻出のため他の経費を削減したとしても、中学校卒業までの通院医療費無料化には満たないと思う。
- ・ 本市の財政規模に見合った、例えば所得制限をつけた請願にさせていただく方法もあるのでは。
- ・ 仮に請願を採択した場合、議員は実現まで責任を持たなければならない。

一般質問

11月定例会で15人の議員が質問しました。

掲載内容は、代表的な質問、答弁の概要のみです。

詳細は、市議会ホームページの会議録またはインターネット録画中継をご覧ください。

また、会議録は市役所情報公開コーナー、図書館、各コミセン等で閲覧できます。



小中学校の 教育資機材は 充実しているか

まる やま けい じ
丸 山 敬 二

問 本市の小中学校において、指導要領に基づく理科の観察実験を行うための資機材の整備率は。

答 小学校で57.4%、中学校で30.5%。理科教育設備は、国庫補助対象なので、可能な限りの整備に努めており、授業に支障は出ていないと考える。

問 タブレット端末を活用した授業では、児童生徒の理解度向上が期待できるが、本市での導入計画は。

答 学校教職員と教育委員会で検討委員会を設置しており、年度内には導入計画の策定を予定している。早ければ平成27年度から導入したいが、さまざまな課題があり、優先順位を勘案して決定していく。

◎朝鮮人街道の分岐点について

問 歴史書によって朝鮮人街道の分岐点は、小篠原や行畑などさまざまであるが、教育委員会の認識は。

答 正確には小篠原である。書籍により行畑となっているのは、分岐点の位置自体への異説や行畑の地名を指したものではなく、当時の小篠原は、駅前にまだ家もなかったので、行畑の集落の東の端という解釈から、行畑という表現になったと認識している。

問 分岐場所に道標が建っていたが、事故で折れ、近くの寺に保管されている。元の位置に戻す予定は。

答 現実問題として、道路の形態や土地の確保の面から、設置を可能とする場所がなく、当面は実行できない。



分岐点道標



合併当初の 新市まちづくり 計画について

かや き すすむ
栢 木 進

問 平成16年の合併当初の合併特例債を活用した事業計画で、既に実施された事業とされていない事業は。

答 主な実施事業は、学校施設耐震化、給食センターや幼稚園・こども園の整備など。実施していない事業は、スポーツ施設等いわゆる箱物建設事業などで、維持管理費の新たな発生や計画の段階で他事業への転換など詳細検討した結果、現在の第1次野洲市総合計画に位置づけがされていない事業である。

問 合併特例債期間延長に伴い、野洲駅北口広場やこども園整備のほかどのような事業を考えているか。

答 事業が具現化した時点で個々に判断し、県との協

議を経て、合併特例債を有効に活用したいと考えている。

問 新市まちづくり基本計画や野洲市総合計画に新駅設置構想が盛り込まれているが、まずは構想をまとめて計画を進めるべきと考えるか。

答 新駅設置構想は、駅単体でなく、交通ネットワーク構想での広域の観点や排水対策を行った上での周辺地域のまちづくりと一体となって構想を定めるもので、現時点ではその段階に至っていないと考えている。また、新駅については、都市計画マスタープランでもしっかりと位置づけがされており、今後も市全体のまちづくりを考えた中で、具現化に向けて取り組んでいきたい。

◎文化庁が創設を目指す「日本遺産」について

問 市内にある文化遺産や歴史遺産を「日本遺産」として認定されるよう申請する考えはあるか。

答 市内の歴史的な遺産は、申請を可能とする要件を満たしていないと考える。現段階では、具体的な回答はできないが、今後の進展を見守っていきたい。



オレンジリボン運動について

なか つか なお のり
中 塚 尚 憲

問 本市の平成24年度、25年度、26年度の児童虐待相談対応件数は。

答 家庭児童相談室における相談件数は、平成24年度は285件、25年度は338件、26年度は10月31日現在で345件である。

問 今年度の啓発運動の具体的な内容は。

答 5月の児童福祉月間、11月の児童虐待防止推進月

間に合わせて、市内公共施設に児童虐待防止のシンボルである「オレンジリボン」のぼり旗の設置、街頭啓発、チラシ配布、講座、アミンチュプロジェクトとの共催事業などである。

問 子ども虐待防止に関する本市の課題と今後の政策展開は。

答 親教育が十分でないことが課題と考える。今後は、怒鳴らない子育てを目標とした親教育、青年層を対象とした講座の実施など、今までの啓発イベントから更に一歩進んだ積極的な政策を展開していきたい。



オレンジリボン運動

【その他の質問】 市役所庁舎内の省エネLED化について・野洲市職員の懲戒処分について



消防団員確保の推進と処遇改善を

あ り た ゆ き
矢 野 隆 行

問 消防団は、防災本部や消防署等と同様、地域における消防、防災のリーダーとして、平常時、非常時を問わず、その地域に密着し、住民の安心安全を守るという重要な役割を担っている。本市の消防団の条例定数は178人であるが、現団員数は何人か。

答 平成26年11月末現在で174人である。

問 定数に対し、不足している4人の団員確保は。

答 消防団員が組織する消防団員確保実行委員会での団員確保や自治会からの推薦、市内事業所の協力や

防災フェア、成人式後のはたちのつどいでの啓発等、機会があるごとに取り組んでいただいている。

問 郵便消防団、大学生消防団などの機能別消防団の導入は考えているか。

答 機能別消防団としての組織は、現時点では考えていないが、指揮能力や災害時の現場指揮の補助体制強化を目的として、消防職員OBや消防団員OBで構成する機能別消防団員の導入を検討している。

問 団員の出勤に伴う手当の現状と他市との状況は。

答 湖南4市（草津市・守山市・栗東市・野洲市）は同額で、1回当たり1,500円。訓練等の出勤は1回当たり1,100円を支給している。また、湖南4市を除く県内平均額に比べ、それぞれ約600円ほど低い状況となっている。



消防団防災訓練



“湖の駅”野洲の未来の方向を考える

きた むら い す す
北 村 五十鈴

問 四半世紀の間、荒れ果てた湖岸地先、問題も多く地元や近隣の自治体は高齢化も進み、このままで放置しておくわけにはいかない。湖岸地先の産業の活性化は急務だと考える。地元住民との話し合いの中で、湖岸開発と“湖の駅”構想が浮上し、大学の力も借り、研究をしていただいているところである。

ただ、市街化調整区域という高い壁がある。地区計画という解決策も含めて、市全体からみた残り少ない観光資源でもある湖岸地先の今後の方向性を問う。

答 市街化調整区域における地区計画制度で検討する可能性はあるが、対象区域の土地所有者の合意形成と制度の運用基準に適應する計画づくりが必要。また、土地利用の方向性については、都市計画マスタープランに自然資源として環境保全に努めることと、自然資源を生かした観光レクリエーション施設の誘導が明記されている。湖岸振興策には、まちづくりの視点は不可欠で、マスタープランの方針に沿って市全体を見渡した取り組みでの湖岸地域の位置づけが大切である。地域課題の解決に向けて、都市部とは違った地域特性を基本に今後の方向性を明確にしていけるよう取り組んでいきたい。



地方教育行政法 改正に関する 基本的な考えは

いわ ち え こ
岩 井 智恵子

問 平成27年4月1日より地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律が施行されるが、本市では、施行と同時に教育委員長と教育長を一本化した新教育長の任命をするのか。もしくは経過措置として徐々に新制度へ移行していくのか。

答 制度上では法施行時に教育長の残任期間がある場

合、その間は現行制度で行うとなっている。本市も教育長の残任期間があり、現行制度または新制度でいくか現在検討中で、良い時期に判断していきたい。

問 この制度改正には、平成23年10月に大津市でいじめによる中学生の自殺という痛ましい事案が発生し、教育委員会の不適切な対応が問題視されたことが大きく関わっているが、本市では、新制度施行後どのように対応することになるのか。

答 関係機関が連携した「いじめ問題対策連絡協議会」を常設、教育委員会に第三者による「いじめ問題専門委員会」を設置し、いじめ防止等の研究や事案発生時には調査を行い、必要に応じて「再調査委員会」を設置し、市長による再調査を行うなどの対応となる。以上の対応のための組織設置等を定めた「いじめ防止条例」制定の提案を予定している。



職員の 不適正処理事案 について

た か は し し げ お
高 橋 繁 夫

問 観光物産協会の会計処理で、職員が赤字になるのを防ぐため、私費で補填していた事案の報告を受けたが、入金があった日付はいつか。

答 最初が平成24年11月9日。同年度末の平成25年3月28日までに11回に分けて入金。平成25年度は、同年度末の平成26年3月31日に2回に分けて

入金があった。

問 伝票の処理は最終、誰の決裁であったのか。

答 協会会則では特に定めはない。伝票では会長が最終決裁者となっているが、実際には事務局長の位置づけである商工観光課長までで決裁処理されていた。

問 補填した金額は何に使ったのか。

答 銅鐸などの土産品等の購入名目で補填し、資金不足を補った。

問 総合防災センターの敷地に係る不適正処理事案では、組織内での報告、連絡、相談は適切に行われていたのか。また、監督者の責任も問われるのでは。

答 報告、連絡、相談がなされていれば、早い段階での対応ができたものと考えている。また、当時の上司である管理監督者についても野洲市職員懲戒等審査委員会に諮り、処分を行っている。



学区自治連合会 行政懇談会共通 課題について

さ か く ち て つ や
坂 口 哲 哉

問 学区の自治連合会で出された課題についてどのように対応してきたか。

答 課された課題で対応できるものについては、真摯に受け止め、これまで滞っていたものも含め、速やかに対応している。

◎野洲市消防団三上分団詰所移転について

問 三上分団詰所は、有事の際、県道27号野洲甲西線の渋滞により、消防車が出動しにくい。また、消

防団員の駐車場の課題もある。移転の考えは。

答 当詰所は、昭和63年12月の開所で、現在築26年が経過。鉄骨造りの2階建てで、耐用年数が34年となっており、現時点での移転は考えていない。また、課題は承知しており、建替え時期になったら、消防団や地元自治会と協議していきたい。



三上分団詰所

◎市道路の管理状況について

問 市道の雑草等の処理は、年何回か。

答 基本的に年1回。交通量の多い主要幹線道路は、通行上支障となる場合、2回目の除草を行う。

問 辻町小比江線で、少し陥没している箇所があるが。

答 今年度、緊急修繕を行う予定である。



医療費無料化の署名に込められた思いの認識は

野並 享子

問 「夫が派遣、私はパート。病院に連れて行けないから売薬で済ませている。重症化しないか心配である。」など中学校卒業まで通院医療費の無料化の署名5,801筆には切実な思いがあるが、市長の認識は。

答 関係団体の方々から依頼があり、重く受け止め、1時間あまり話し合いさせていただいた。可能であれば無料化したいが、湖南4市（草津市・守山市・栗東市・野洲市）で小学校3年までの無料化について、制度面で共通化を図りたいということで、声をかけたが調整がつかなかった。実現と持続可能性の観点か

ら、政策的な優先度の高さを議員のみなさんで、あるいは市民と一緒に議論をいただき、安心できるまちをつくっていくべきと考える。

◎幼稚園の保育料が変更になるが野洲市ではどうか

問 来年4月から幼稚園の保育料が一律でなく、所得に応じての保育料に変わるが、市はどうされるのか。

答 低く設定すれば、市の負担割合が増えるが、現行水準から大幅な変更が無いようにと考えている。

◎消火栓を使った訓練や機材の点検が必要では

問 自治会で消火栓を使った訓練はできるのか。また放水訓練をしている自治会は。

答 市に届出があれば、消火栓を使った訓練はできる。訓練をした自治会は、平成26年度は11月末までで1件と言う状況。自治会から相談を受ければ、市、消防署、消防団が支援する。資機材の整備に補助金や交付金があるので活用していただきたい。



子どもの貧困対策について

山本 剛

問 生活困窮者が増加し、その人たちの子どもも負の影響を受けている。平成25年に「子どもの貧困対策の推進に関する法律」が制定され、今年8月には、「子どもの貧困対策に関する大綱」が閣議決定された。本市において子どもの貧困問題をどのように受け止め、またどのように取り組んでいくのか。

答 本市の生活保護受給世帯は、184世帯、267人

（平成26年11月時点）で、そのほか、就学援助や児童扶養手当受給世帯など各制度それぞれ重複はあるものの、これらの世帯の子どもたちに貧困の問題があると考えている。貧困の連鎖を防止する観点から、生活困窮者世帯の子どもを対象とした学習支援の実施を検討している。教育と福祉が一体的に支援を行うことで困窮状態からの脱却が期待できる。

問 学習支援に加えて給付型の施策やアフターマティブ・アクション（社会的弱者への進学や就職等における格差是正措置）、ポジティブ・アクション（構造的な差別により不利益を被っている人への機会均等を図る措置）等の施策も必要と考えるが、将来的に本市においてもこうした施策を導入すべきと思うが。

答 国等から事業が示されれば積極的に対応したい。



介護保険制度改革の中でも市民サービスの充実を

太田 健一

問 介護保険制度の改正により、来年3月から要介護1と2の対象者が特別養護老人ホームへの入所ができなくなるが、特例入所が認められているため、現時点でケアマネージャーと繋がっていない人たちを含めての実態把握をすべきでは。

答 月に一度程度、居宅介護支援事業所の届出のチェックを行い、届出がなければ状況把握対象者のリス

トとして支援を行うことで、市内全体の状況把握ができると考えている。

問 介護サービスの限度額を超えた場合、利用者の負担は10割と重くなるが、他の自治体が独自で行っているような補助サービスをすべきと考えるが。

答 制度の趣旨と負担に公平性から考えていない。

◎合併10年の評価を踏まえて

問 合併はそもそも公共施設の統廃合や財政支出を抑える目的で、国が合併特例債などの支援策で進めてきたが、さまざまな課題も多く、旧両町市民の思いも踏まえた上で、今後の市政を進んでいくべき。

答 旧両町の協議の中で、合併が良いとの議論と合意のもとで行われたと認識。旧町意識ではなく市全体として、今後も課題に取り組むべきと考える。



デイサービス事業 閉鎖に伴う対応 について

とう こう まさ あき
東 郷 正 明

問 野洲市社会福祉協議会が行っているデイサービス事業が2月末で終了となり、利用者が他の事業所に通所することになるが、どのように振り分けるのか。また、機械入浴が必要な人は、設備の整った施設が必要となるが、本当に振り分けが可能なのか。

答 社会福祉協議会も民間と同じ一事業所で、採算性の問題から廃止されるとのことである。振り分けに

については、他の民間事業所と同様に、利用者がケアマネージャーと相談しながら希望されるところを決めていただく仕組みになっている。

◎子どもの医療ケアについて

問 通学支援は福祉事業よりも教育事業が優先されるべきとして、研究事業に取り組まないとのことだが、実証研究に手を挙げなくても県と連携を図りながら対応していくべきではないか。

答 養護学校にも確認したが、本市では、今のところ通学支援を希望される学生、保護者はおられない状況である。市町の福祉制度というより特別支援学校への通学ということで、捉え直さないといけないし、大きな課題だと思っている。それを実証とはいえ、市町に手を挙げてもらってやるという発想自体にもともと無理があるのではないかと考えている。



来年度予算編成 と子育て支援 の充実

かし やま いく よ
梶 山 幾 世

問 消費税増税の延期は、子育て、医療、介護などの社会保障の充実へどのように影響があるか。

答 介護保険の今年度前期の伸びだけで5%を超えており、市行政、市民サービス、市が介入しないサービスも含めて、かなりの大きな影響があると思う。

問 待機児童ゼロをめざす受け皿は、どこまで推進されているのか。

答 (仮称)野洲第1こども園建設で長時部は20人増員、竹が丘地先の民間保育施設では70人の増員にな

る計画で、今より保育園で90人増員となり、ある程度のところまで対応できていると思っている。

問 厚生労働省の妊娠・出産・育児までを支援する包括支援モデル事業への市としての取り組みは。

答 国庫補助率2分の1のいい制度だが、百数十しか枠をとらないとのことである。予算がつけば応じたいが、本市では既に関係機関が連携し、きめ細やかなサービスを実施している。出産、子育てにはさまざまな要因があり、家庭の経済、DVの問題等を含めて支援が必要である。出産する人が孤独にならない包括的観点から取り組みを進めていきたい。

◎学習意欲の向上にタブレット端末で反転授業を

問 各自が家庭でタブレットの動画を視聴して事前学習を行うことで児童の学習意欲、学力向上につながっている学校が好評である。導入を考えてはどうか。

答 教育的効果はあると思うが、資機材の準備等環境整備の課題があり、今すぐには考えていない。



農業経営安定基盤 について

すず き いち ろう
鈴 木 市 朗

問 今後の農地集積の施策の考えは。

答 市内の農地面積2,129ヘクタールのうち1,531ヘクタールの71.9%が担い手に集積されている。今後は農地中間管理事業によりさらに進むと考える。

問 低コスト栽培普及の促進の考えは。

答 農地の効率化のためには面積集約が重要で、農地

中間管理機構と連携した取り組みを進めるとともに、低コスト栽培技術の普及については、県の農業技術指導員による営農指導などで情報提供を行っている。

問 国の補助金制度に基づく就農者の実態は。

答 平成25年度は8人、平成26年度は5人である。

問 地域によるが10アール当たりの平均的小作料は。

答 水田の部で基盤整備地域の平均額は8,646円、未整備地域は3,522円となっている。

問 農家から消費者への直販施策の推進は。

答 小南、南櫻、虫生、須原など米の独自販路を開拓されている地域があり、市としても販路拡大は大きな課題であり、今後も積極的に支援していきたい。

問 農業基金の創設による安定経営の推進は。

答 基金創設は現時点では難しいが、国の収入減少影響緩和対策、農業共済などの情報提供を進めていく。



野洲駅南口周辺 整備について

いな がき せい すけ
稲 垣 誠 亮

問 本構想で、JAおうみ富士の所有地3千平方メートルは重要地域であったと思うが、市長の見解は。

答 概要であるとは思っていない。

問 2年にわたる対JAおうみ富士との交渉は、成果を得ることなく終わった。これは、市長がJAおうみ富士経営陣と信頼関係を構築できなかったことが原因の一つであるように思うが。

答 協議は意思決定可能な立場であるトップ同士で行っており、信頼関係が構築できなかったということはない。不調となったのは、土地利用についてそれぞれの意向が折り合わなかったことが原因である。

問 市長が対応することが難しいのであれば、数年来、空席の副市長を選任され、交渉継続してはどうか。

答 一番重要なことであり、別の人に委ねるつもりはない。

問 JAおうみ富士を除外して、本計画を進めると、広場の広さが10年以上は当初予定の半分となる。専門家の意見も聞き、圧迫感のない建物と景観に配慮し、練り直す必要があるのでは。市長の見解は。

答 そのようには考えていない。

反問（市長） 毎議会ごとに野洲駅南口と野洲病院の質問をされるが、新病院についてどういう考えか。

答（稲垣） 民間病院が運営継続を図るべき。本市が病院を整備するのであれば、優先順位として指定管理者制度、独立行政法人が適切であると考えている。

◎野洲市で婚活支援の推進と婚活課の設置を

問 積極的に市として何かやっていけたらと思うが。

答 優先順という意味で、そこまで必要ないと思う。

【その他の質問】 覚せい剤等の薬物防止について・市役所一般行政職員採用試験の合格基準等について ほか

野洲市議会 常任・特別委員会等一覧（平成26年11月4日～）

環境経済建設 常任委員会

道路、環境、上下水道、農業、商工観光などに関する事項の調査や議案等の審査を行います。

委員長 高 橋 繁 夫
副委員長 上 杵 種 雄
委 員 鈴 木 市 朗
河 野 司
矢 野 隆 行
東 郷 正 明

文教福祉 常任委員会

福祉、保健衛生、医療・介護保険、学校教育、生涯学習、スポーツなどに関する事項の調査や議案等の審査を行います。

委員長 丸 山 敬 二
副委員長 岩 井 智恵子
委 員 立 入 三千男
太 田 健 一
市 木 一 郎
稲 垣 誠 亮
中 塚 尚 憲

総務 常任委員会

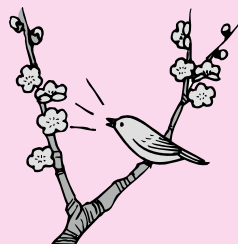
市全体の計画や調整、財政、防災、交通対策など、また、他の常任委員会の所管に属さない事項の調査や議案等の審査を行います。

委員長 井 狩 辰 也
副委員長 栢 木 進
委 員 野 並 享 子
梶 山 幾 世
坂 口 哲 哉
北 村 五十鈴
山 本 剛

予算常任委員会

予算に関する審査を行います。総務、文教福祉、環境経済建設分科会で、各所管に属する予算の質疑を行った後、全体で審査します。

委員長 立 入 三千男
副委員長 鈴 木 市 朗
委 員 議長を除く議員



常任委員会は、議会が市の事務に関する調査や議案などの審査を行うため、常に設置されている委員会のことです。議員は必ずいずれかの常任委員会に属しています。

※平成27年1月21日付で、井狩 辰也 氏が市議会議員を辞職いたしました。

議会運営委員会

議会を円滑かつ効率的に運営するために議席、会期、開議時刻、質問の取り扱いなど議会運営の全般について、協議し、意見などの調整を図ります。

委員長 立 入 三千男
副委員長 坂 口 哲 哉
委 員 野 並 享 子 梶 山 幾 世
高 橋 繁 夫 丸 山 敬 二
井 狩 辰 也 中 塚 尚 憲



都市基盤整備特別委員会

野洲駅南口周辺整備や野洲市立病院の整備について審査を行います。

委員長 梶 山 幾 世
副委員長 太 田 健 一
委 員 議長を除く議員



議会改革特別委員会

より開かれた議会をめざし、議会改革について協議、検討を行っています。

委員長 野 並 享 子
副委員長 矢 野 隆 行
委 員 丸 山 敬 二
井 狩 辰 也
上 杵 種 雄
東 郷 正 明
岩 井 智恵子
栢 木 進
稲 垣 誠 亮

特別委員会とは、常に設置されている常任委員会に対し、必要のある場合や特定の事案を審査するために設置される委員会のことをいいます。

議会だより編集委員会

市民のみなさまに定例会及び臨時会の概要や議会活動の状況などをお知らせするため年 4 回（2 月、5 月、8 月、11 月）発行している議会だよりの編集を行います。

委員長 山 本 剛
副委員長 稲 垣 誠 亮
委 員 上 杵 種 雄 東 郷 正 明
岩 井 智恵子 栢 木 進



一部事務組合議会議員（野洲市議会選出）

守山野洲行政事務組合

守山市と野洲市が共同で管理する火葬場、葬祭場の運営等について審議します。

上 杵 種 雄 栢 木 進
山 本 剛

湖南広域行政組合

草津市、守山市、栗東市及び野洲市が共同で行っている消防や休日急病診療所などの運営等について審議します。

野 並 享 子 立 入 三千男
梶 山 幾 世 坂 口 哲 哉

● 懇談会を開催

参加者アンケート集計【参加者数13人】

※無回答の項目があるため回答人数と回答数には差が生じます。

【回答人数】 13人

【お住まい】 市内12人 市外1人

【性別】 男性10人 女性3人

【年齢】 20歳代 …… 1人
30歳代 …… 1人
40歳代 …… 1人
50歳代 …… 0人
60歳代 …… 4人
70歳代以上 … 6人

【開催情報の入手方法】

議会だより …… 12人
自治会の回覧 …… 2人
議員の呼び掛け …… 3人
ホームページ …… 1人

【感想】

わかりやすかった …… 6人
どちらともいえない … 7人
わかりにくかった …… 0人

【時間】 長かった …… 2人
ふつう …… 10人
短かった …… 1人

【資料】 多い …… 0人
ふつう …… 9人
少ない …… 2人

【評価】

評価する …… 7人
どちらとも言えない … 4人
評価しない …… 1人



★コミセンみかみ

11月10日(月) 午後1時30分～

参加者
6人

★コミセンしのはら

11月13日(木) 午後7時～

参加者
2人

★コミセンひょうす

11月16日(日) 午後1時30分～

参加者
5人

※今後は、多くの市民のみなさまが参加しやすい環境づくりに努めます。

アンケートによる要望・ご意見

○主なご意見等

- ・ 行政に対してチェックする(した)資料が必要である。
- ・ 高齢化に伴う福祉施策をテーマに取り上げてほしい。
- ・ 報告会・懇談会を含め、議会に対する市民の認知があまりにも低く感じる。
- ・ 市民の方も議員の方々も自分たちの暮らす地域について、一生懸命考えておられる姿を見て素晴らしいと思った。もっとこういう人が増えないとい

けないなと思った。

- ・ 年々報告会の参加人員が減少している。何が原因か追求すべきである。
- ・ 参加者がどんどん減っている。何らかの工夫が必要だろう。テーマを絞って議論する場にするとか、各自治会ごとに出前で講座的にやるのも一方法。
- ・ 市制施行10周年のテーマについて、もう少しいろいろな角度から話し合える時間を費やしてほしい。

第8回

議会報告会

議会報告会・懇談会での質疑応答・ご意見

◆議会報告会での主な質問

Q 野洲市住民投票条例の一部改正が提案されているが、この条例は実際に運用されたのか。

A 条例は制定されているが、施行(運用)については、平成27年9月をめどに準備が進められている。

Q 意見書第20号と第21号は農家に関係することで、コメの暴落に関する緊急対策を求める意見書であるが、否決となった。賛否の理由は。

A 今回、JAが平均より3,000円ほど値下げした暫定価格を出しことに対しての意見書で、それに対して賛否が分かれた状況である。賛成の議員はすぐにでも提出すべきだ。反対の議員は暫定だからこの3年間を通じて結論が出るのではとの意見であった。

Q 野洲駅南口でJAが移転しない場合、3.2ヘクタールの市有地内で駐車場整備が必要となる。駐車場問題を含めた周辺整備構想は、議会では協議しているのか。

A 議会の中では都市基盤整備特別委員会があり、その中で議論をしている。

Q 野洲駅南口でJAが移転に対して反対しているが。

A 移転ではなく、朝鮮人街道のほうに向けた現地建替えの意向であった。

Q 待機児童(保育所)は、どれくらいなのか。

A 30人から40人と聞いているが、ゼロに向かっているので、もう少し待っていただきたい。

◆議会報告会での主な質問

【懇談テーマ】“市制施行10周年を迎えて”

Q 人口が減っていくなかで、いなくなる公共施設も出てくる。今後の整備計画は。

A 公共施設については、随時検証を行っているところである。

Q 平成29年の議会改選の1年前までには、定数

条例を変えて、報酬も変えるべきであると思う。定数を減らして35万円が適当である。報酬を引き下げて定員をそのままにするのは、帳じり合わせである。

A 今後の議会改革のなかで、議論をする。

Q 天井川の問題は、市として国や県に対して要望されているのか。

A 防災という観点から、河川の整備や土砂対策等を県に継続して要望しており、順次対策を進めてもらっている。

なお、天井川の平地化は難しいので、護岸工を中心に改修を進めていくこととなる。

Q 懸案事項である国道8号のバイパス整備の現状と進捗状況は。

A 道路計画地に幅ぐいが打たれ、国の予算で、用地買収の費用も一部ついている。計画地に企業があり、現在、代替地の交渉が行われている。その代替地が農業振興地域であることから、手続きに相当の時間がかかる。

Q 女性の家庭外での活躍やいろんなところで女性をもっと意見が出せるまちづくりに理解と協力をお願いしたい。

A 議会では要望があれば、議員が出かけていって懇談をする出前懇談会を開催している。「男女共同参画やす」からも要請を受けて懇談をした。議会としても市民の声を聞きながら男女共同参画を進めている。

◆主な要望・ご意見

・市制10周年に当たり、次の10年、20年という野洲の今後の方向性について、しっかりとしたものを持っていただきたい。

・緑の会といって市三宅地先の緑を造成している。プロムナードを造成したり、月3回ほどボランティア活動をしているので応援を。

野洲市議会出前懇談会を実施しています!

野洲市議会では、議員が出向いて市民のみなさまのご意見等を直接お聴きする『出前懇談会』を年間通して実施しています。お申込みは野洲市議会事務局まで。

- 対 象 市内に在住又は在勤している人で構成する概ね5人以上の団体やグループ
- 懇談テーマ 市政の重要課題等
- 開 催 日 開催期日は問いませんが、開催希望日の20日前までにお申込みください。
- 開催時間 午前9時から午後9時までの間で、1回につき2時間以内
- 問合せ先 議会事務局 (TEL 587-6034) まで。

今後の議会予定

月 日	曜日	種 別	開議時刻	摘 要
2月25日	水	本会議	9:00	上程議案の提案説明
3月 4日	水	本会議	9:00	議案質疑、代表質問
		委員会	本会議終了後	予算常任委員会
5日	木	本会議	9:00	代表質問、一般質問
6日	金	本会議	9:00	一般質問
9日	月	本会議	9:00	一般質問 (予備日)
10~13日	火~金	委員会	9:00	委員会審査
16・17日	月・火	委員会	9:00	委員会審査
20日	金	委員会	9:00	予算常任委員会
24日	火	本会議	13:00	委員長報告、質疑、討論、採決

※上記日程は都合により変更する場合があります。

議員の表彰について

○湖南地区市議会議長会(平成26年11月)

野並 享子 議員 (在職30年)

※旧町の年数は表彰規程に基づき、換算し、加算されています。

傍聴のごあんない

傍聴を希望される方は、原則、自由に議場または委員会室(野洲市役所本館3階)の傍聴席にお入りいただくことができます。



市制10周年 新ドウタクくん
提供 野洲市観光物産協会

新しい年を迎え、市議会としても一層、襟を正し、安全、安心の野洲のまちづくりに努めてまいります。まだまだ寒さは続きます。ご自愛ください。議会だより編集委員会

昨年10月には、野洲市市制10周年の節目を迎え、次なる10年への挑戦がスタートしました。

市議会では、平成26年第5回臨時会で正副議長や議会議長選出監査委員等が決まり、より一層、市民の代表として、市政に携わってまいります。

少子高齢と人口減少、交通や安全のための基盤整備、防災、環境保全等課題は山積しています。

昨年暮れには、衆議院解散総選挙も行われましたが、景気回復にはまだまだ、先行き不透明な部分もあります。

No.41 表紙写真



三上小学校 左義長体験

この行事は、地域の伝統行事のよさを子どもたちに伝えるため、同小学校同窓会の協力を得て、行われています。

グラウンドに集まった全校児童は、持ち寄った書初めやしめ飾りなどを竹組みに納めたあと、寒空にパチパチと竹がはじけ燃え上がる炎を見守りました。

(1月13日)

写真募集

「やす市議会だより」の表紙に掲載する写真を募集しています。どなたでも応募可能です。応募方法は野洲市議会事務局まで。



- TEL (077)587-6034
- FAX (077)586-4300
- メール gikai@city.yasu.lg.jp

編集後記